

寺報は無料、不要の方は一報下さい。

第229号

龍源寺報

令和2年秋彼岸号

臨濟宗・妙心寺派	住職 松原 樹
佛母寺住職 松原 行	正福寺住職 松原 樹
TEL	3451-1853
FAX	3451-6094

振込 00160-0-104918

東京都港区三田5丁目9-23 (郵便番号 108-0073)

Email: info@ryugenji.com

URL: http://www.ryugenji.com

秋彼岸におもむ

私が毎日読誦する經典の中に、『延命十句観音經』という經文がございます。私の家では、昨年一月二十五日に兄の五十回忌を迎えました。兄については、父母も祖父母も多くは語らなかつたし、私自身も兄の名前を知っているだけで深いことは聞いていませんでした。私がそれを知ったのは、祖父の原稿からでした。

「おもちゃの箱のような棺桶に赤ん坊を入れまして、後でわかつたことではありますが、若い夫婦が両親の写真と、私の寺の観音さまの御影を入れまして、手紙を書いて入れたのだそうです。『観音さま、お願いです。この子はとても小さな子です。もしも途中で道に迷っておりましたら、どうかこの子の手をつないでやってください。お父さんとお母さんの写真を入れてあげるから怖がらずに行くんですよ。お父さんとお母さんと観音さまが付いているから、ちつとも怖くないからね』と書き添えました。」

右も左も判らない、言葉も判らない幼い兄の旅立ちに、両親が観音さまに最後に託した言葉が、「念々從心起、念々不離心」(念ずれば念ずるほど、観音さまが心より起こり、念ずれば念ずるほど、観音さまが心を離れない)という『延命十句観音經』の最後の言葉でした。東嶺圓慈とうりやうゑんじ禪師は、「隠顕出沒おんけんしゅつぼつ

大自在を得る」とし、観音さまは、人々を救うために、見えたり隠れたり様々な姿で私達の前に現れ大自在を得ると教示します。きつと、観音さまが両親の姿に変わって、「怖がらなくていいからね」と兄に安心を与えたことでしょうか。私の家族もそれを信じて、観音さまに全てを託し、心から『延命十句観音經』を一心に唱え、兄を送りだしたのです。

江戸時代中期に、『梵学津梁』というサンスクリット語の研究書を大成した慈雲尊者じゆんそんじやうおんじゆう飲光は、光明真言という真言が本来の発音と違っていることに気付いていましたが、伝統的な読み方を否定しませんでした。本来の発音とは異なっているても、光明真言の功德が数多くの人々に伝わっていたためです。經典や真言は、頭で意味を理解することよりも、一心に声に出して「唱える」ということが大切なのです。これは、自分のいたらなさや小ささを理解している人、そしてほとけさまの大きな力を理解している人がはじめてできることなのです。

追善供養とは、亡くなった人が生前成し遂げることができなかつたことを遺された者がかわつて善事をすることです。ですから、私達一人一人が、どんなに小さなことでもよいから善いことをすることが大切です。法事やお墓参りの機会に、ゆつくり静かに自分の生涯の全体を真剣に思い、真の自分を確立させていきたいものです。(信樹)

柳 緑

秋彼岸を迎えます。皆さま
いかがお過ごしでしょうか。

花 紅

三月より坐禅会をはじめと
するお寺の定例会を休会し
ています。休会の間、蔵書

の整理を行っています。蔵書の整理には
長い時間がかかるだろうと思っていまし
たが、このコロナ禍の中でさせていただ
いたことは、いかに普段雑用に振り回さ
れていたかを痛感しています。法要をお
考えのお檀家様は、龍源寺では換気・除
菌を徹底させています。お茶を中止し、
マスクをして読経させていただいており
ます。現在のところ少人数での法要をお
すすめしております。▼現在、龍源寺創
建三五〇年事業のひとつとして、東北寺
合同船の余裕が無くなりつつありますの
で、新たに納骨堂の建設を計画しており
ます。私が副住職を拝命したのは平成一
〇年。約二〇年の間に、お墓を整理する
方が増えて、合同船に改葬する方が増え
ました。特に、宣伝をして募集をするこ
とも考えておらず、龍源寺のお檀家さま
向けのもので、納骨堂(合同船)

をお考えの方は、まだ計画の中のお話しで
すが余裕をもって念頭に入れておいてい
ただけたらと思います。車両等が入れず、
考えていた以上に工事費用がかかること
が判明し、ご寄付のご協力をいただくた
ら大変ありがたく思います。▼今年、
北軽井沢・日月庵坐禅堂の活動をお休み
しました。このようなことは、平成二二
年父の葬儀と、祖父母の法要以来のこと
でした。境内、坐禅堂、研修所の掃除が
気になっていますが仕方のないことです。
来春の早い時期には再開したいと思っ
ています。▼家内の亜矢は、七月から仕事
に復帰しました。今、私が原稿を書いて
いるのは、八月一六日。広島往復の仕事
です。朝方、家を出るとき娘に手紙を書
いて出かけ、昼頃帰宅します。その他、
在宅での仕事、龍源寺の仕事、育児など、
かんばつております。仕事に復帰してか
ら、顔が活き活きしてきたと母と話して
おります。娘は、幼稚園の夏休み。公園
にもコロナで行かせることができず、我
慢をさせてしまっています。今年はじめ
て、龍源寺の境内でお掃除をお願いして

いる渡辺さんがカブトムシを見つけまし
た。カブトムシを娘と飼育し、数日でカ
ブトムシは死んでしまいました。一緒に
土に埋めて木の札で墓標を建て手を合
わせました。ペットの寿命とは人の生き
ている時間を凝縮させたものであり、命
の向き合い方を一緒に学びました。▼母
は、お茶の教室をお休みにしています。
社中の皆さまは、お稽古事ですから、本
当は毎日しなくてはならないはずのこと
ですが、仕方がありません。一〇四歳の
祖母も食欲があり元気にしています。大
変ありがたいことです。▼秋彼岸会を行
うにあたり、コロナウイルス感染拡大防
止の観点から、距離をとっての法要のご
参加、手指の消毒、お斎の持ち帰りを
お願い申し上げます。御斎のちらし寿司の
作成は今回も中止とさせていただきます。
お盆の折の御斎は、からくさんのおいな
りさんでした。からくさんは、先代、
先々代の関係でお世話になっております。
▼九月二二日(秋分の日)午前一一時
より秋彼岸会を厳修致します。寺族一
同お待ち申し上げております。(信樹)

秋ひがん法要

一、九月二十二日・秋分の日（午前十一時より）

一、法話

・駐車場はありません。南北線をご利用ください。

お願い

※新型コロナウイルスの感染拡大予防のため、外階段を使って、外からのお焼香をお願い致します。午前十一時より、読経時間は約二十分です。その間にご来山下さい。

龍源寺への交通の便（地下鉄）

●都営三田線

（目黒または三田、南北線は白金高輪駅下車。徒歩五分）

●2番出口から地上に出ると案内看板に「龍源寺」名あり

龍源寺への交通の便（都バス）

●田87 渋谷駅—田町駅 魚ラン坂下下車

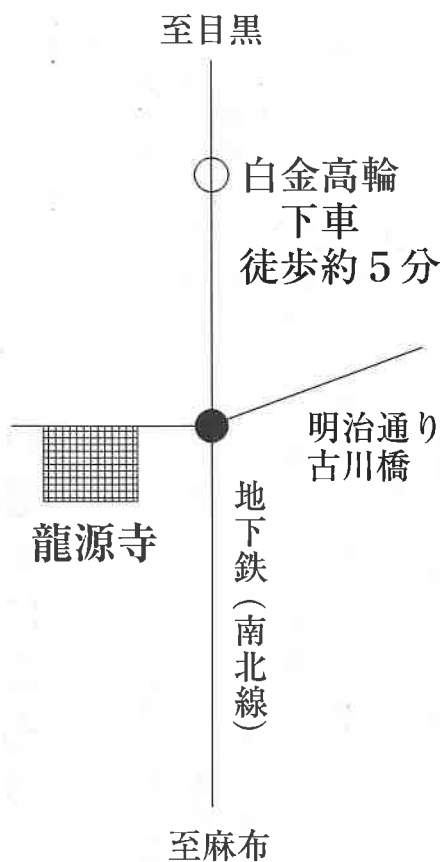
●都06 渋谷駅—新橋駅 古川橋下車

●品97 品川駅—新宿駅西口 魚ラン坂下・古川橋下車

●反96 五反田駅—品川駅—六本木ヒルズ（循環）

魚ラン坂下・古川橋下車

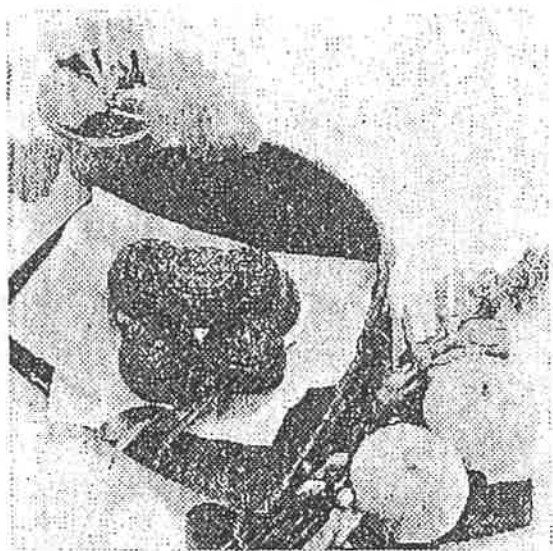
●東98 東京駅丸の内南口—目黒駅 魚ラン坂下下車



【味覚歳時記】

ゆべし 柚餅子

松原静子



今月は、精進料理にかかせない
柚餅子ゆべしを作ってみました。

まず、柚子ゆずのヘタつきの方を横
に少し切り、スプーンで、皮が破
けないように注意しながら中身を
出します。

柚子一個の中に入れる材料は、
赤味噌ムシロ百グラム、砂糖大さじ一杯、煎り

たての白ゴマ一杯、柚子のしぼり
汁、酒・少々を混ぜ合わせます。こ
のとき、白ゴマを多目に入れた方
がおいしいようです。そして、その
材料を柚子の中に入れたら、切っ
ておいたヘタの部分をふたにして
かぶせてください。

ふかし釜にふきんをしき、約二
十分ふかすと、中の味噌まで火が
通り、中身が膨張して、ふたが一
センチほど盛り上がってきます。

あとは、天日で十日ほど干し、
柚子全体が味噌色になるとでき上
がりです。冷蔵庫で保存すれば、
一年間はもちます。薄く切って食
べますが、酒のつまみや、茶菓子
として重宝します。